

令和7年度 第1回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年5月29日（木）午前9時30分から11時05分まで

2 場 所 静岡県立静岡視覚特別支援学校 あいルーム（教育相談室）

3 参加者 計13人

学校運営協議会委員 6人

静岡英和学院大学 教授

地区町内会 民生委員

交流校 PTA 副会長

地区自治会 会長

就労継続支援施設 施設長

本校 PTA 会長

本校職員

7人

校長、副校長、教頭、事務長、幼小小学部主事、

高等部主事、教務主任

4 内 容

（1）学校運営協議会委員任命状 伝達

（2）自己紹介

（3）会長・副会長・地域コーディネーター選出

・会長

静岡英和学院大学 教授

・副会長

地区町内会 民生委員

・地域コーディネーター 交流校 PTA 副会長

（4）会長挨拶

5 協議（司会 会長）

（1）学校経営計画及び取組について（校長説明）

（2）意見や質問、それに対する回答

運：学校運営協議会委員からの質問、意見、感想等

学：本校職員の回答

運：ヒヤリ・ハットはどのような事例があるか。

学：いつもは物のない場所に物が置かれている、ドアが中途半端に開いていること等がある。校内でルールは明確化されているので、今一度周知している。

⇒運：仮移転中であるため、今まで以上に気をつけるとよい。

運：危機管理マニュアルを活用した訓練で、新しく取り組んでいることはどのようなことか。

学：今年度は特に寄宿舍の訓練が充実している。隔週で訓練を実施したり、舎生が実際に寄宿舍内の危険個所を見つけたりする取り組みを実施している。

⇒運：体験することで理解が深まるので、ぜひ継続して取り組んでほしい。

運：寄宿舍の夜の指導体制はどのようになっているか。

学：舎監の教諭1名、寄宿舍指導員1名の計2名で対応している。

(3) 学校経営計画の承認

学校運営協議会委員全員からの承認を得る。

(4) 各学部の取組について説明（学部主事からの説明）

(5) 意見や質問、それに対する回答

運：高等部の臨床実習の申し込みはどのようにすればよいか。

学：予約専用の電話のみとなっている。ホームページに情報は載せている。

⇒運：知らない方も多いと思うので、他の発信方法もあるとよい。

運：高等部は中途障害の方が対象とのことだが、学齢期の生徒は中学部を卒業後、どのような進路先があるのか。

学：県内だと浜松視覚特別支援学校に高等部普通科が設置されている。国立の筑波附属視覚特別支援学校高等部を受験する場合もある。

運：視覚障害者に関わる関係機関には、どのようなところがあるか。

学：社会福祉協議会、保健センター、病院等と連携をしている。

⇒運：福祉事業所とも連携ができるとよい。

運：幼稚部の併行通園については、どのように情報発信しているか。

学：行政機関等を通して発信している。

⇒運：行政機関は情報発信が弱いと感じる部分もあるので、もっと発信していけるとよい。

6 新校「するが視覚総合特別支援学校」について

(1) 概要説明（校長、教頭）

(2) 意見や感想等

- ・ 正門や幼児児童生徒昇降口について
- ・ 移転（引っ越し）の時期について
- ・ 避難場所等の指定について

7 閉会